

小峰城清水門跡の発掘調査

2024年9月8日

白河市では、東日本大震災で被災した石垣修復が終了したことを受け、小峰城の価値をさらに高めることを目的に、二之丸と本丸を結ぶ重要な位置に存在した「清水門^{しみずもん}」を復元することとしました。

清水門の復元工事は、令和5年度から着手し令和8年3月には完成の予定です。

今回の復元に先立ち、現地の遺構確認調査を進めてきましたので、その成果を公開するものです。



CGによる復元イメージ

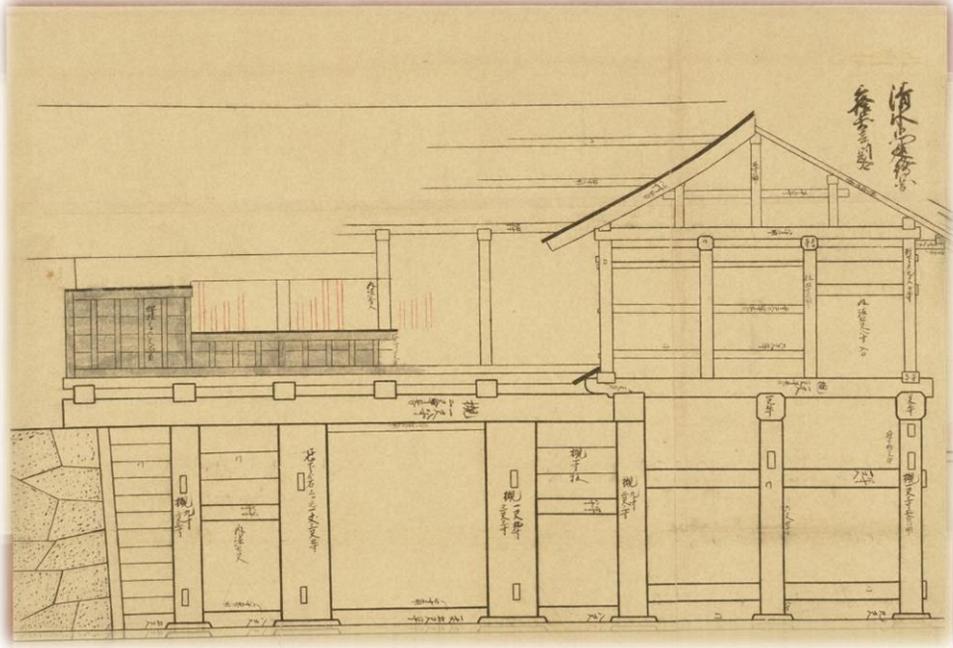


お問い合わせ：白河市建設部文化財課史跡整備係
電話0248-22-1111（内線2230）
✉ bunka@city.shirakawa.fukushima.jp

市ホームページ
（清水門復元）

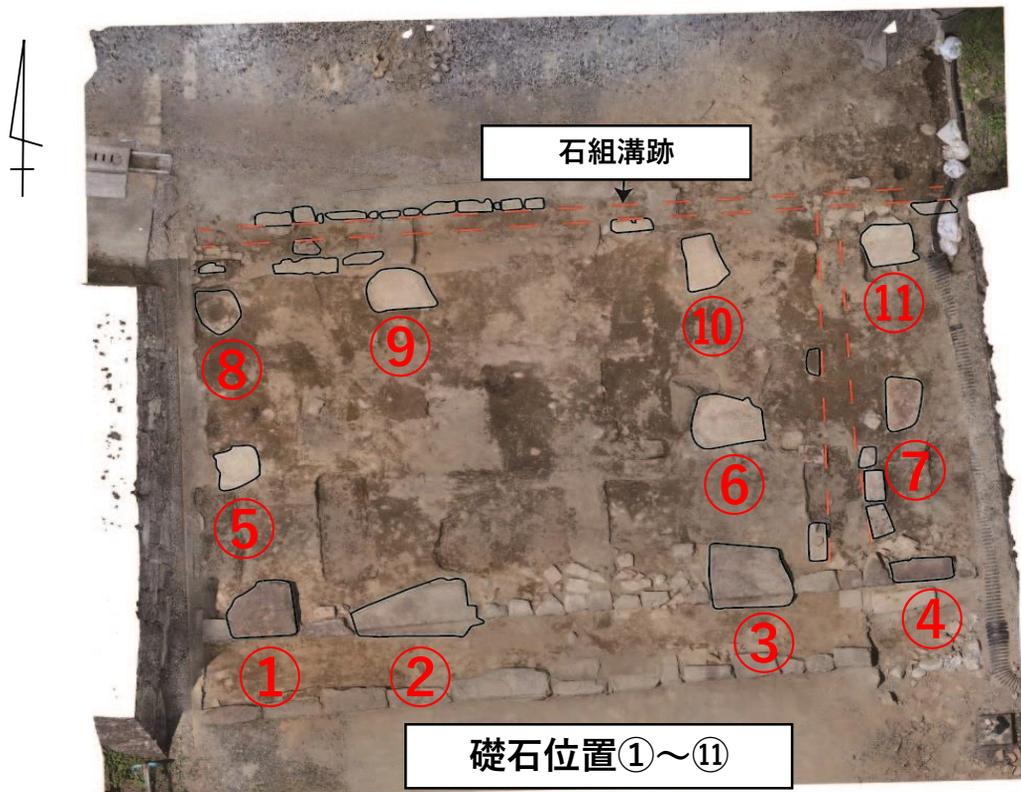
清水門は、高さが約11m、間口は約14mと、城内では最大規模を誇る櫓門でした。

門の復元にあたっては、江戸時代に城内の門・櫓の実測である「白河城御櫓絵図」^{しらかわじょうおやぐらえず}と発掘調査の成果に基づいて設計図を作成しました。



「白河城御櫓絵図」について

本図は2巻仕立てで、城内に存在した門・櫓・用屋敷などの建築物を網羅した絵図です。柱の太さや柱間の寸法などが記され、当時作成された実測図といえます。



礎石位置について

発掘調査では、1箇所を除き礎石の存在が確認できました。また、排水のため構築された石組の溝も見つかっています。残っている礎石間の寸法と絵図に記された寸法は合致しています。